

第28号様式（第64条関係）

地球温暖化対策実施状況報告書

平成 23年 7月28日

香川県知事殿

報告者 〒761-8014

住所 香川県高松市香西南町455-1

氏名 アオイ電子株式会社

取締役社長 中山 康治

香川県生活環境の保全に関する条例第91条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
事業者の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第63条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第63条第2号に該当する事業者
事業の概要	主に、電子部品の製造を行っており、県内に2事業場の生産拠点を有する。
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	指針様式2のとおり
実施状況の公表予定年月日	平成 23年 7月 30日
実施状況の公表の方法	弊社のホームページに掲載し、インターネットの利用により公表する。
連絡先	担当部署 品質保証部 担当者 XXXXXXXXXX 電話番号 087-882-1131 FAX番号 087-881-5656 電子メールアドレス XXXXXXXXXX@XXXXXX.XXXXXX

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。
2 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

事業所の名称及び所在地

	名 称	所 在 地
第一種エネルギー管理指定工場		
1	本社・高松工場	高松市香西南町455-1
2	観音寺工場	観音寺市吉岡町262
3		
第二種エネルギー管理指定工場		
1		
2		
3		
それ以外の事業所		
1		
2		
3		

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		平成 22 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		1 工場レイアウト変更に合わせて運転効率の良い空調への置換えを実施しました。 2 工場棟の新設（東2号館）時に、高効率機器の導入を推進しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高効率変圧器の導入、一部440V電圧化および並列運用 ・ LED照明の導入 ・ 高効率圧縮機の導入 					
温室効果ガスの排出の量の削減実績	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (平成 19 年度)	目標年度 (平成 22 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (平成 22 年度)	対基準 年度比 (%)
		□ 温室効果ガス 排出量 A	(二酸化炭素換算(t)) 22,612t - CO ₂ ①	(二酸化炭素換算(t)) 23,800t - CO ₂	105.3	(二酸化炭素換算(t)) 25,610t - CO ₂ ②	113.3
		✓ 原単位排出量 A/B	■■■■ t-CO ₂ /百万個	■■■■ t-CO ₂ /百万個	96.6	■■■■ t-CO ₂ /百万個	107.4
	温室効果ガス排出量と 密接な関係を持つ値 B	■■■■ 百万個 (生産数量)	■■■■ 百万個 (生産数量)	108.9	■■■■ 百万個 (生産数量)	105.5	
	温室効果ガスの吸収等	区 分	実施年度(平成 年度)				
			取組量等		二酸化炭素換算(t) ③		
		□ 森林の整備等	(整備面積等)	ha	(吸収量)	t - CO ₂	
□ グリーン電力 の購入	(購入量)	千 kWh	(削減量)	t - CO ₂			
削減量	基準年度 ① (平成 19 年度)	実施年度 (②-③) (平成 22 年度)		対基準年度比 (%)			
	22,612t - CO ₂	25,610t - CO ₂		113.3			
特記事項	上記の取組み以外に地球温暖化防止のため、以下の取組みを実施予定 ・ 太陽光発電をはじめ、自然エネルギー導入の調査活動を実施						
備考	平成20年度の世界的な同時不況の結果、当社に関連します電子部品業界は大幅な減産となりました。平成21年度は、回復の兆しが見受けられました。平成22年度は、新商品での増産がありました。しかし、全体として基準年度までの回復には至っていない状況です。その結果、当社においては効率的な生産を維持することが困難となり、基準年度に比べ改善できていない結果となりました。						

(注)

- 1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。
- 2 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほか、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。
- 3 「備考」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

【別表1】 アオイ電子株式会社 本社・高松工場 (平成22年度分)

エネルギーの種類		エネルギー使用量			単位発熱量	
		数値 A	単位	熱量 (GJ) B = A × C	数値 C	単位
燃料 及 び 熱	原油 (コンデンセートを除く。)			k l		38.2 GJ/k l
	原油のうちコンデンセート(NGL)			k l		35.3 GJ/k l
	揮発油 (ガソリン)			k l		34.6 GJ/k l
	ナフサ			k l		33.6 GJ/k l
	灯油			k l		36.7 GJ/k l
	軽油			k l		37.7 GJ/k l
	A 重油			k l		39.1 GJ/k l
	B・C 重油			k l		41.9 GJ/k l
	石油アスファルト			t		40.9 GJ/t
	石油コークス			t		29.9 GJ/t
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	309	t	15,697	50.8 GJ/t
		石油系炭化水素ガス		千 m ³		44.9 GJ/千 m ³
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		54.6 GJ/t
		その他の可燃性天然ガス		千 m ³		43.5 GJ/千 m ³
	石炭	原料炭		t		29.0 GJ/t
		一般炭		t		25.7 GJ/t
		無煙炭		t		26.9 GJ/t
	石炭コークス			t		29.4 GJ/t
	コールタール			t		37.3 GJ/t
	コークス炉ガス			千 m ³		21.1 GJ/千 m ³
	高炉ガス			千 m ³		3.41 GJ/千 m ³
	転炉ガス			千 m ³		8.41 GJ/千 m ³
	都市ガス			千 m ³		44.8 GJ/千 m ³
	産業用蒸気			GJ		1.02 GJ/GJ
	産業用以外の蒸気			GJ		1.36 GJ/GJ
	温水			GJ		1.36 GJ/GJ
	冷水			GJ		1.36 GJ/GJ
小計 ①				15,697		
電気	一般電気事業者	昼間買電	24,282	千 k Wh	242,092	9.97 GJ/千 k Wh
		夜間買電	16,377	千 k Wh	151,979	9.28 GJ/千 k Wh
	その他	上記以外の買電		千 k Wh		GJ/千 k Wh
		自家発電		千 k Wh		GJ/千 k Wh
	小計 ②				394,071	
合計(GJ) ③=①+②				409,768		

原油換算エネルギー使用量 (k l)	④=③×0.0258	10,572
--------------------	------------	--------

【別表1】 アオイ電子株式会社 観音寺工場（平成22年度分）

エネルギーの種類		エネルギー使用量			単位発熱量	
		数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位
燃料 及 び 熱	原油（コンデンセートを除く。）			k l		38.2 GJ/k l
	原油のうちコンデンセート(NGL)			k l		35.3 GJ/k l
	揮発油（ガソリン）			k l		34.6 GJ/k l
	ナフサ			k l		33.6 GJ/k l
	灯油			k l		36.7 GJ/k l
	軽油			k l		37.7 GJ/k l
	A 重油			k l		39.1 GJ/k l
	B・C 重油			k l		41.9 GJ/k l
	石油アスファルト			t		40.9 GJ/t
	石油コークス			t		29.9 GJ/t
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	2	t	102	50.8 GJ/t
		石油系炭化水素ガス		千 m ³		44.9 GJ/千 m ³
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		54.6 GJ/t
		その他の可燃性天然ガス		千 m ³		43.5 GJ/千 m ³
	石炭	原料炭		t		29.0 GJ/t
		一般炭		t		25.7 GJ/t
		無煙炭		t		26.9 GJ/t
	石炭コークス			t		29.4 GJ/t
	コールタール			t		37.3 GJ/t
	コークス炉ガス			千 m ³		21.1 GJ/千 m ³
	高炉ガス			千 m ³		3.41 GJ/千 m ³
	転炉ガス			千 m ³		8.41 GJ/千 m ³
	都市ガス			千 m ³		44.8 GJ/千 m ³
	産業用蒸気			GJ		1.02 GJ/GJ
	産業用以外の蒸気			GJ		1.36 GJ/GJ
	温水			GJ		1.36 GJ/GJ
	冷水			GJ		1.36 GJ/GJ
小計 ①				102		
電気	一般電気事業者	昼間買電	11,809	千 k Wh	117,736	9.97 GJ/千 k Wh
		夜間買電	7,902	千 k Wh	73,331	9.28 GJ/千 k Wh
	その他	上記以外の買電		千 k Wh		GJ/千 k Wh
		自家発電		千 k Wh		GJ/千 k Wh
	小計 ②				191,067	
合計(GJ) ③=①+②				191,169		

原油換算エネルギー使用量 (k l)	④=③×0.0258	4,932
--------------------	------------	-------

【別表2】 アオイ電子株式会社 本社・高松工場（平成22年度分）

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油（コンデンセートを除く）		kl			kl			
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl			kl			
	揮発油（ガソリン）		kl			kl			
	ナフサ		kl			kl			
	灯油		kl			kl			
	軽油		kl			kl			
	A 重油		kl			kl			
	B・C 重油		kl			kl			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	309	t	15,697		t	15,697	926.6
		石油系炭化水素ガス		千 m ³			千 m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千 m ³			千 m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千 m ³			千 m ³			
高炉ガス		千 m ³			千 m ³				
転炉ガス		千 m ³			千 m ³				
都市ガス		千 m ³			千 m ³				
小計 ①								926.6	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
小計 ②								0.0	
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千 kWh)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
電気	一般電気事業者	昼間買電	24,282	千 kWh		千 kWh		24,282	9,882.8
		夜間買電	16,377	千 kWh		千 kWh		16,377	6,665.4
	その他	上記以外の買電		千 kWh		千 kWh			
		自家発電		千 kWh		千 kWh			
小計 ③								16,548.2	
合計(t-CO ₂) ④=①+②+③								17,474.8	

電気：0.000407t-CO₂/kWh（四国電力㈱）

【別表2】 アオイ電子株式会社 観音寺工場（平成22年度分）

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃料	原油（コンデンセートを除く）			kl			kl		
	原油のうちコンデンセート(NGL)			kl			kl		
	揮発油（ガソリン）			kl			kl		
	ナフサ			kl			kl		
	灯油			kl			kl		
	軽油			kl			kl		
	A 重油			kl			kl		
	B・C 重油			kl			kl		
	石油アスファルト			t			t		
	石油コークス			t			t		
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	2.0	t	102		t	102	6.0
		石油系炭化水素ガス		千 m ³			千 m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千 m ³			千 m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス			t			t		
	コールタール			t			t		
	コークス炉ガス			千 m ³			千 m ³		
高炉ガス			千 m ³			千 m ³			
転炉ガス			千 m ³			千 m ³			
都市ガス			千 m ³			千 m ³			
小計 ①								6.0	
熱	産業用蒸気			GJ			GJ		
	産業用以外の蒸気			GJ			GJ		
	温水			GJ			GJ		
	冷水			GJ			GJ		
小計 ②								0.0	
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千 kWh)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
電気	一般電気事業者	昼間買電	11,809	千 kWh			千 kWh	11,809	4,806.3
		夜間買電	7,902	千 kWh			千 kWh	7,902	3,216.1
	その他	上記以外の買電		千 kWh			千 kWh		
		自家発電		千 kWh			千 kWh		
小計 ③								8,022.4	
合計(t-CO ₂) ④=①+②+③								8,028.4	

電気：0.000407t-CO₂/kWh（四国電力㈱）

【別表5】アオイ電子株式会社 (平成22年度分)

事業所名		自動車 エネルギー使用量・台数										
		ガソリン (kl)			軽油 (kl)			LPG (t)		都市ガス(CNG)(千 m ³)		
		台数(台)		台数(台)		台数(台)		台数(台)				
		総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く			
1	本社・高松工場	16.59	7	7	6.38	2	2					
2	観音寺工場	3.39	1	1	6.10	4	4					
3												
合計		19.98	8	8	12.48	6	6					

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B = A × C	数値 C	単位	
ガソリン	19.98	kl	691.31	34.6	GJ/kl	46.39
軽油	12.48	kl	470.50	38.2	GJ/kl	32.26
LPG		t		50.2	GJ/t	
都市ガス (CNG)		千 m ³			GJ/千 m ³	
合計						78.65

※ LPGの比重は、一般に0.50~0.60 kg/lですが、デフォルト値として0.56 kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

- 燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの
- 燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの
- その他の方法 ()

集計表

区分	平成22年度 (t-CO ₂)
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表2)	25,500
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表5)	78
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量 (非エネルギー起源CO ₂ 排出量 : 0.2 t - CO ₂ メタン分排出量 : 8.7 t - CO ₂ 一酸化二窒素分排出量 : 1.6 t - CO ₂ ハイドロフルオロカーボン類分排出量 : 22.2 t - CO ₂ 六フッ化硫黄分排出量 : 0.2 t - CO ₂)	32
合計	25,610